

# 中学校部活動の地域移行についての“おたより”です

令和7年6月号（No.4）

伊那市立中学校部活動の地域移行協議会

事務局：伊那市教育委員会学校教育課

☆ 今回の「おたより」では、『地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議（文部科学省）』の最終とりまとめ概要（R7.5.19公表）」についてお知らせします。

詳細等は、文部科学省（スポーツ庁・文化庁）ホームページなどでご確認ください。

## テーマ1 改革の理念及び基本的な考え方等

### ＝ 改革の理念 ＝

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。

学校における働き方改革の推進、良質な指導等を実現することも考慮。

- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊で幅広い活動機会を保障。
- スポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

### ＝ 地域クラブ活動の在り方 ＝

- 学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。
- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、国として、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を示した上で、地方自治体において認定を行う仕組みを構築していく必要。

### ＝ 地域全体で連携して行う取組の名称 ＝

- 上記の理念や地域クラブ活動の在り方等を的確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。

※ 学校部活動から地域クラブ活動に転換した場合であっても、地域クラブ活動の実施に当たって、学校施設の活用等、学校との連携は図る必要。

### ＝ 改革を進めるに当たっての基本的な考え方 ＝

- 理念等を幅広い関係者で共有すること。
- 地域の実情等に応じた多様な選択肢を認めること。
- 活動内容の質的向上を図ること。
- 対面とデジタルを最適に組み合わせること。
- 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討し、国・都道府県・市町村が支え合いながら適切な支援を行うこと。
- 多様な子供が希望に応じて安心して活動に参加できる環境を整備することが重要であること。

## テーマ2 今後の改革の方向性

### **= 次期改革期間 =**

#### ○ 改革実行期間

前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度

- 平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。

### **= 費用負担の在り方等 =**

- 受益者負担と公的負担のバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要。
- 企業版ふるさと納税やガバナンスクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。
- 経済的に困窮する世帯の生徒への支援については、確実に措置を行う必要。
- 部活動指導員の配置について、次期改革期間においても一定の範囲で支援を行っていく必要。

## テーマ3 学習指導要領における取扱い

- 地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるものの、教育的意義を有する活動であり、継続的スポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するもの。そのため、地域クラブと学校との連携が大切。
  - 今後、休日を中心に、地域クラブ活動が広く普及・定着していることが見込まれる一方で、当面は、平日を中心に学校部活動が存続する学校も一定程度あることが想定。
  - 指導体制については、地域展開が原則となる休日だけでなく、地域連携も含めて取組が進められる平日についても、地域クラブの指導者又は部活動指導員が指導を担う体制を普及させていくことが重要。
  - 学習指導要領の次期改訂においては、地域クラブ活動の普及・定着を前提とした記載としつつ、地域展開が困難な場合等にも実施される学校部活動に関しても教職員の負担軽減の視点から一定の記載を行うことが考えられる。
  - このような方向性を踏まえつつ、地域クラブ活動と部活動に関する記載内容についてスポーツ庁及び文化庁において更なる検討・具体化を進めた上で、中央教育審議会に報告されることが期待される。
- ※ 地域クラブ活動と学校との必要な連携など、地域クラブ活動の実施に当たっての留意点等については、学習指導要領解説や部活動ガイドラインなどにおいて詳細を記載していくことも考えられる。

☆ 伊那市では、この最終とりまとめを受けて、伊那市立中学校部活動の地域移行に係る推進委員会・準備委員会、協議会などでの検討を通し、伊那市としてできる、また、必要な支援・助成、協力などについて、具体的な内容を検討しています。

☆ 中学校の部活動から地域に展開されたクラブについては、テーマ1(※)にあるよう、学校施設の活用等、学校との連携を図っていくよう検討する予定です。（文責 [TEL:78-4111](tel:78-4111) 内線:2711）